

株主のみなさまへ

2015年3月期 第2四半期

2014年4月1日 - 2014年9月30日



GRANDIT



United Innovation



Healthcare

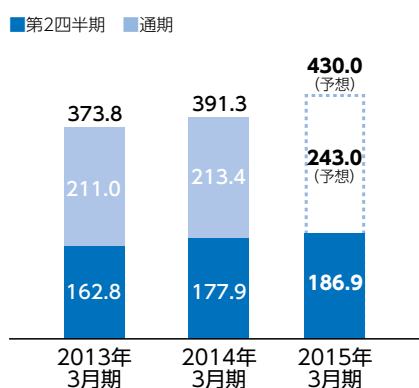


Net Business

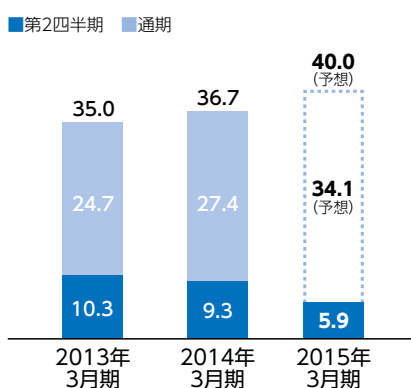
第2四半期連結決算ハイライト

- POINT**
- 1 | 第2四半期に過去最高売上高を達成し、増収
 - 2 | ITサービス・セグメントは売上高構成比の変更により、減益
 - 3 | TVCMの効果により、ネットビジネス・セグメントは好調を維持し、ITサービス・セグメントは堅調に回復しているため、通期業績予想は期初計画を達成する見込み

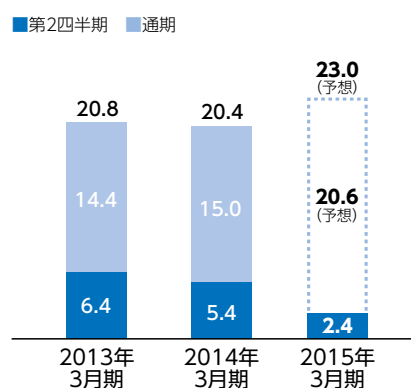
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



四半期(当期)純利益 (億円)



※通期及び四半期業績の特性について

わが国では、事業会計年度を4月から3月までと定める企業が多いため、システムの導入・検収が、年度の節目となる3月に集中する傾向にあります。このため売上高、利益ともに第1・3四半期が相対的に少なくなり、第4四半期に集中する傾向を有しています。

セグメント別の概況

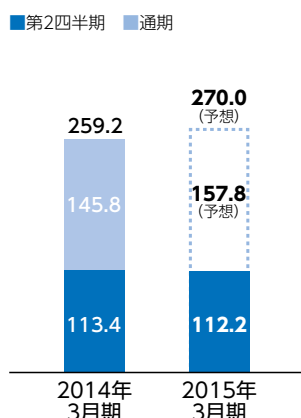
ITサービス・セグメント

- 病院向けシステムが受けた消費税増税前の駆け込み需要の反動は、他の事業がカバーし前年同期並みの売上高を確保
- 売上高を構成する各事業の比率が変わったこともあり前年同期比で減益

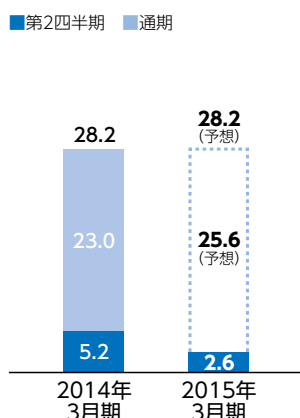
ネットビジネス・セグメント

- 電子書籍配信サービスが好調で増収
- 電子書籍配信サービスのTVCMコストは同売上高伸長により吸収するも、ゲームなどの新規サービスの収益化が遅れ減益

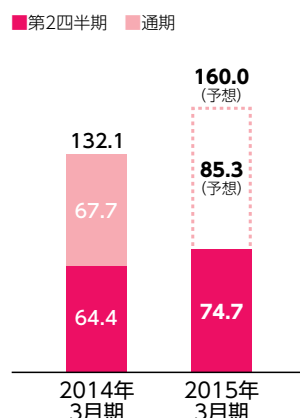
売上高 (億円)



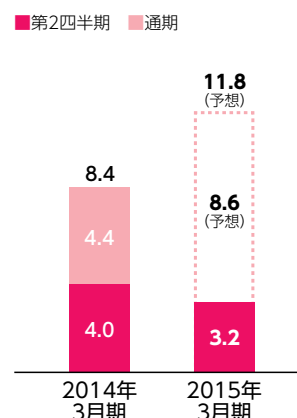
営業利益 (億円)



売上高 (億円)



営業利益 (億円)



トップメッセージ



第2四半期は過去最高の売上高を達成し、成長の手応えを実感しています。

代表取締役社長
竹原 教博

2015年3月期第2四半期までを振り返って

当第2四半期は売上高186.9億円、営業利益5.9億円と前年同期比では増収減益という結果となりました。第1四半期に病院向けシステムの販売が消費税増税前の駆け込み需要の反動に影響を受けたことや、ネットビジネス事業でのゲームの収益化が遅れたことにより利益を押し下げられたことが主な要因です。

当第2四半期の3ヵ月は電子書籍配信サービスの伸長やヘルスケア事業の業績回復ならびにGRANDITが好調に推移したことから、前年の同四半期に比べ増収増益、売上高は過去最高となり大きく回復しました。

中期経営計画の重点事業領域は順調に拡大しています

第3四半期以降は、ネットビジネス事業では期首の予想を据え置いています。電子書籍配信サービスはそ

れを上回る実績で推移しています。一方、ヘルスケア事業では第2四半期の回復基調を受け、病院向けビジネスを着実に推進するほか、製薬・健康ビジネスの新展開、GRANDIT事業では機能強化やパートナーの拡充などを着実に進めてまいります。海外分野においては新規事業創出のスピードアップを含めた中期経営計画の達成にむけて、8月に米国シリコンバレーにインフォコムグループ初のコーポレートファンド「インフォコムファンド」やIoT（詳細P4）/M2M領域における共同研究を目的とした共同出資会社「EverySense, Inc.」により新規事業を探索してまいります。

また、株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、インフォコムグループの事業に対する理解を深めていただくこと、中長期的な関係を築いていくことを目的として株主優待制度の導入を開始しました。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

中期経営計画 **United Innovation** ・進化

インフォコムグループは、より存在感のある企業グループへの進化を目指し中期経営計画（2013年3月期～2017年3月期）を推進しています。

中期経営計画基本方針

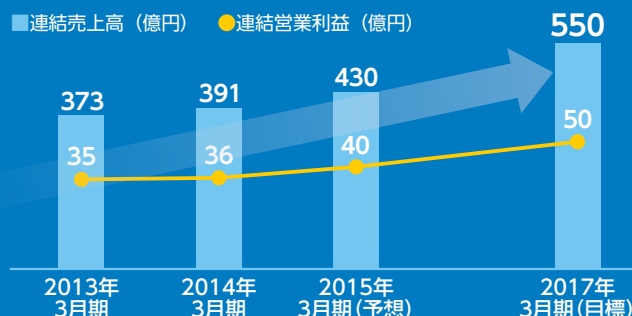
- ① 環境変化へのスピーディな対応による“進化”
- ② 重点事業領域の業容拡大に向けた“進化”
- ③ “進化”を支える事業基盤の継続的強化

●セグメント構成と重点3事業



業績目標と進捗状況

ネットビジネス、ヘルスケア、GRANDITの重点3事業を推進し、目標達成を目指す。



インフォコム の成長への取り組み 中期経営計画重点3事業を中心とした



NET BUSINESS

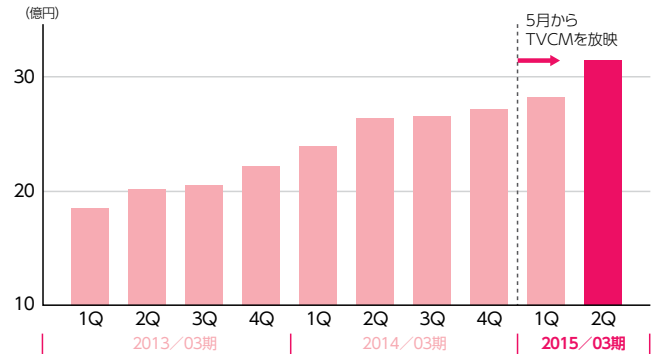
●電子書籍配信サービス

TVCMによる新規顧客層の開拓、TVCMに連動したWEB広告展開、一般コミックの拡充や無料コミックの増量を実施



業績の推移

月間売上高が7月に**10億円**を突破!
四半期毎の売上高も成長を継続



●eコマース

株式会社イー・ビー・エスのファッション事業を連結子会社化した株式会社ドゥマンに譲渡したことにより、物流コストが大幅に削減

提供中のサービス



●ゲーム配信サービス

構造改革を実施し、コストを圧縮

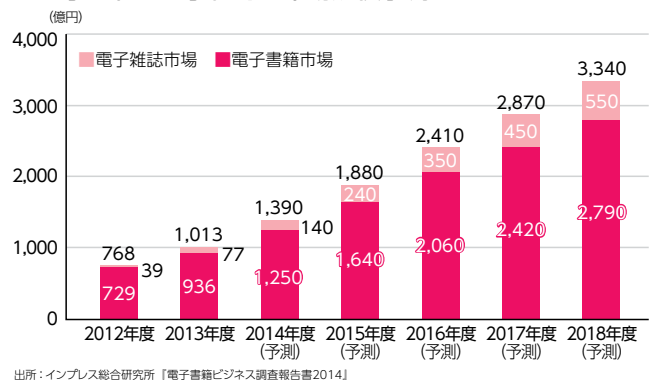
上期配信コンテンツ

黒執事 Cinematic Card Collection



電子書籍の市場規模は2013年度に約1,000億円、その7割がコミック分野と言われ、今後も成長が見込まれています*。「めちゃコミック」は年末年始にもTVCMを計画し、さらなる成長を目指していきます。

※電子書籍・電子雑誌の市場規模予測



月間売上高が過去最高の**10億円**を突破!
0.1秒に1人が読んでいる!
国内最大級の電子コミックストア「めちゃコミック」とは



●めちゃコミックの特長

いつでも、どこでも

スマートフォンやケータイで、たくさんのコミックを読むことができるので、コミックを持ち運ぶ必要はありません。また、購入したコミックは、好きな時に何度でもお読みいただけるので、ちょっとした空き時間に気になるコミックを読むことができます。

豊富な無料立ち読み

無料立ち読みのできるコミック多数で、気になったコミックや話題のコミックをお気軽にお試しください。立ち読みにはブックマーク機能もあり、ちょっとした時間にマークを付ければ、後でのんびりとコミックをお試しいただけます。

毎週更新

新作コミックが、毎週月・金曜日に大量入荷します。他にも、コミックのストーリーやシチュエーションに合わせためちゃコミックオリジナルのユニークな特集もご用意してあるので、新しいコミックの発見があるかもしれません。

活動を進めています

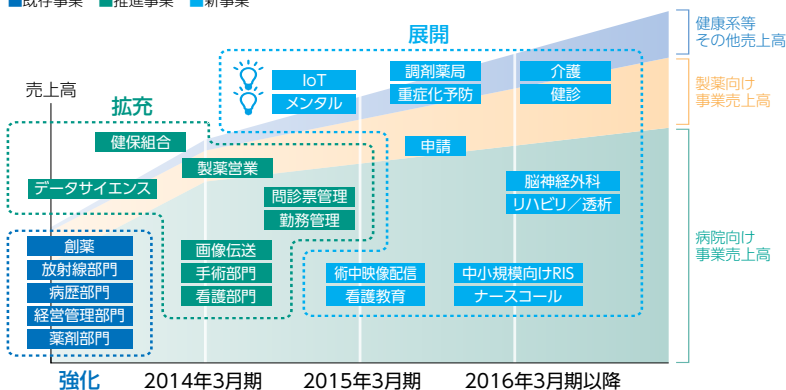


HEALTHCARE

既存事業の強化、推進事業の拡充、新事業の展開を継続

事業領域別売上高と個別事業の属性

■ 既存事業 ■ 推進事業 ■ 新事業



メンタル

東京大学大学院医学系研究科の川上教授と産学共同研究で開発中の海外駐在員を含む海外在留邦人のストレスチェック問診票を使い海外駐在員向け健康管理クラウドサービスを開始します。

IoT*

今後特に市場拡大が期待される「IoT」領域において、応用技術の研究開発を目的にEverySense, Incへ出資しました。新規サービスの創出につながる応用技術の研究開発などを進めていきます。

*Internet of Thingsの略。世の中に存在するさまざまなモノがインターネットにつながることで実現される全てのサービスを指す。



GRANDIT

パートナーを拡充し、販売・導入体制を強化

主な取り組み

2014年9月

- GRANDITコンソーシアムにエヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社が参画
- データ分析機能を強化した新バージョンを販売開始

2014年10月

- GRANDITコンソーシアムのビジネスパートナーに伊藤忠テクノソリューションズ株式会社が参画



新規事業開発に向けて

事業推進コーポレートファンド「インフォコムファンド」を設立

米国シリコンバレーに約20億円規模のコーポレートファンド「Fenox Infocom Venture Company V, L.P.」（通称：インフォコムファンド）を設立

設立の目的

- ITサービスに関する最先端技術や革新的なビジネスモデルを有するスタートアップ企業の発掘、支援
- 米国をはじめとした先進国市場だけではなく、成長著しいアジア新興国市場へのグローバルな事業展開

めっちゃ犬もめっちゃコミックが大好き!

めっちゃ犬は「めっちゃコミック」の大ファン。アイドルファンがそのTシャツを着て、いつも音楽を聴くように、めっちゃ犬は「めっちゃ」と書かれた腹巻まいて、いつでもめっちゃコミックと過ごします。

公式HP <http://sp.comics.mecha.cc/>



めっちゃ犬プロフィール

名前	めっちゃ犬 (めちやいぬ)
年齢	不詳。自分でも覚えていない
身長/体重	53.9cm/5.39kg ※偶然にも539 (コミック)

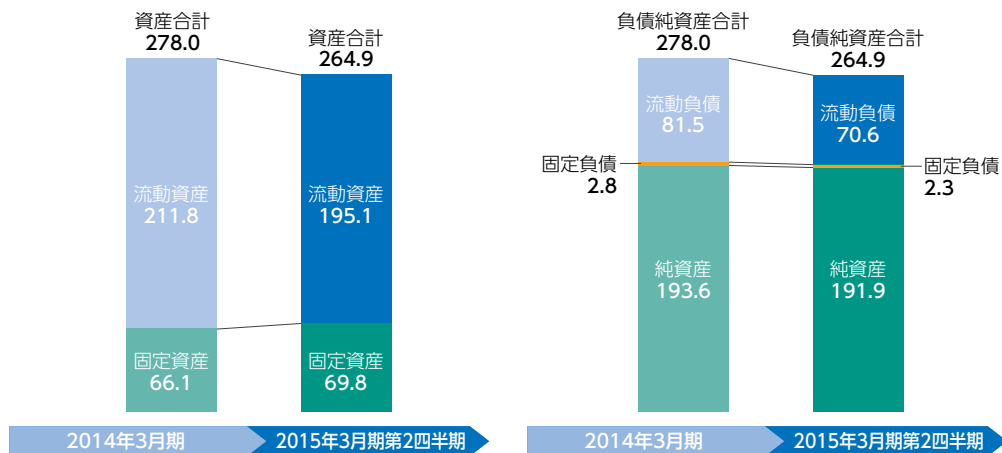


詳しくは「めっちゃ犬のお部屋」へ <http://sp.comics.mecha.cc/info/mechainu>

“性格”や“趣味”など他のプロフィールも載ってるよ

連結財務データ

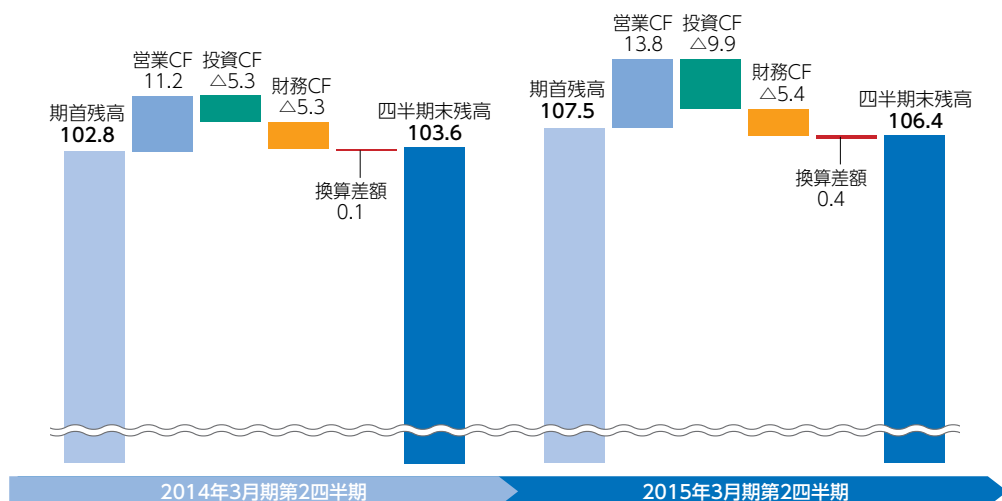
連結貸借対照表の概要 (億円)



POINT 1
流動資産 16.7億円減
 売上債権の回収により受取手形及び売掛金が17.4億円減少したことが主な要因です。

POINT 2
固定資産 3.6億円増
 投資拡大によりソフトウェアが4.4億円増加したことが主な要因です。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (億円)



POINT 3
 営業で稼いだキャッシュ・フローのほとんどは、投資と株主さまへの還元に使いました。

●IRインフォメーション

リニューアルしました!!

ホームページとFacebook公式ページのご案内

インフォコムグループの情報は、以下のインフォコムホームページよりご提供しています。当上期にはホームページのリニューアルを行い、財務・業績情報をグラフでご確認いただけるほか、ニュースリリースや過去の決算短信、株主や投資家のみなさまに当社のことをもっと知っていただくためのコンテンツなどをご用意しています。ぜひご覧ください。

インフォコムホームページ
<http://www.infocom.co.jp/>

インフォコム Facebook公式ページ
<https://www.facebook.com/InfocomCorporation>

インフォコム

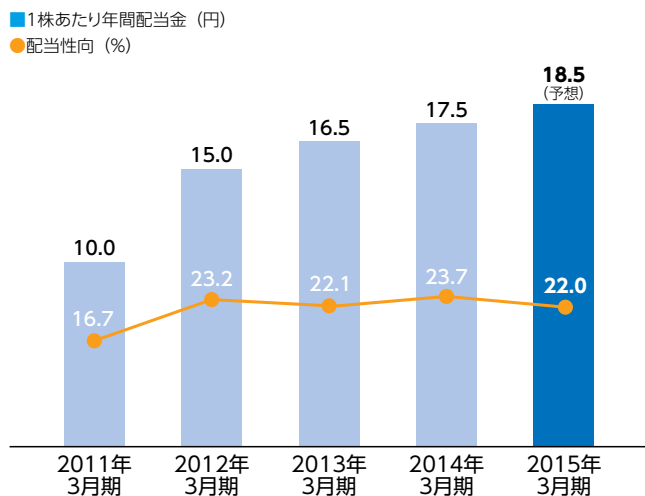
●今後のIRスケジュール(予定)

インフォコムでは迅速かつ正確な情報開示を心がけ、以下予定のほか個人投資家向け会社説明会など、株主・投資家のみなさまに向けたさまざまな活動を行っています。

2015年	
1月末頃	・2015年3月期第3四半期決算発表
4月末頃	・2015年3月期決算発表
5月下旬頃	・第33回定時株主総会招集ご通知発送
6月中旬頃	・第33回定時株主総会開催 ・次回「株主のみなさまへ」発送

株主還元について

1株あたり年間配当金／配当性向



インフォコムグループは、株主価値を高める上で安定的な利益還元を重要な経営課題と考えています。資金需要のバランスを考慮の上、財務体質の強化と事業拡大に必要な内部留保の充実を図るとともに、安定的な配当を行う方針です。当期の配当につきましては、1株あたり年間配当金18.5円を第33回定時株主総会にてご提案申し上げる予定です。

※2013年3月期以前の配当金につきましては、株式分割に伴う影響を加味した遡及修正値を使用しています。

株主優待制度を導入しました

株主のみなさまの日頃のご支援に感謝するとともに、インフォコムグループの事業に対するご理解をより深めていただくことにより、より多くの方々に当社株式を長期的に保有していただくことを目的として本制度を導入いたしました。

① 対象となる株主様

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載された当社株式を1単位（100株）以上保有されている株主様を対象といたします。

② 優待の内容

下表に記載の通り、保有株数と保有年数に応じた株主優待ポイント（1ポイント＝1円相当）を贈呈いたします。株主優待ポイントは、『オーガニックサイバーストア』（当社連結子会社である株式会社ドゥマンが運営する食品などの通信販売サイト）でご利用可能なポイントまたはグルメ商品と交換いただけます。

単位：ポイント

保有株数	保有年数	株主優待ポイント	
		3年未満	3年以上
100株以上500株未満		1,000	2,000
500株以上1,000株未満		2,000	4,000
1,000株以上		3,000	6,000

※保有年数は、毎年9月30日を基準に、同一株主番号で継続して株主名簿に記載されている年数です。当社株式をすべて売却したのちに、再度当社株式を購入された場合は、継続保有となりません。

③ 実施時期

①に記載の株主様を対象に、11月中にご案内をお送りいたします。



会社概要・株式状況 (2014年9月末日)

会社概要

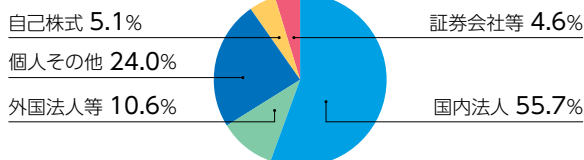
商号 インフォコム株式会社
(INFOCOM CORPORATION)
代表取締役社長 CEO 竹原 教博
設立 1983年2月
本社所在地 東京都渋谷区神宮前2-34-17
主要拠点 東京都渋谷区、大阪府大阪市、
神奈川県横浜市、福岡県福岡市
決算期 3月末日
資本金 15億90百万円
社員数 658名 (単体) 1,294名 (連結)
グループ会社 国内10社、海外3社

役員

代表取締役社長 竹原 教博
取締役 里見 俊弘
取締役 大垣 喜久雄
取締役 西川 修
取締役* 津田 和彦
常勤監査役* 相原 洋介
常勤監査役 堀 克明
監査役* 谷田部 俊明

*印の役員は社外役員です。

株式の所有者別状況



株式情報

上場市場 (銘柄コード) 東京証券取引所JASDAQスタンダード (4348)
発行可能株式総数 115,200,000株
発行済株式総数 28,800,000株
株主数 5,416名
事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会: 3月末日
期末配当金: 3月末日
100株
売買単位
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都江東区東砂七丁目10番11号
0120-232-711 (通話料無料)

公告の方法

電子公告として当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL: <http://www.infocom.co.jp/>

大株主の状況

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
帝人株式会社	158,800	55.13
自己株式	14,600	5.06
インフォコムグループ従業員持株会	9,285	3.22
ドイチェバンク アーゲー ロンドン ピービー ノントリティー クライアント 613	4,429	1.53
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	4,403	1.52
バンク オブ ニューヨーク ジーシーエム クライアント アカウント イービーディー	4,277	1.48
メロン バンク トリーティー クライアント オムニバス	2,749	0.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	2,470	0.85
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント	1,864	0.64
ビーエヌワイエム エスエーエヌビー ビーエヌワイエム クライアント アカウント エムピーシーエス ジャパン	1,734	0.60
個人株主	1,657	0.57

岩沼「みんなの家」が1周年を迎えました

1周年を迎えた岩沼「みんなの家」の活動をご紹介します。

岩沼「みんなの家」は東日本大震災の被災地の農業復興支援活動と、その復興支援継続のための事業を創出していく拠点の場として2013年7月に竣工しました。通常は地域住民の憩いの場や農産物の販売所として利用されています。この秋には農業復興収穫イベント「玉浦祭」への協力と会場提供を行いました。「玉浦祭」は被災した田畑を復活することが出来た喜びを発信した想いで始まった農業収穫祭で、町の様子を知っていただくことや人々の再会を喜び合う場として開催されています。インフォコムでは今後も被災地のみなさまへ継続的な復興支援を行ってまいります。



お問い合わせ

インフォコム株式会社 広報・IR室
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-34-17 住友不動産原宿ビル
TEL: 03-6866-3000(代) FAX: 03-6866-3900 E-mail: pr@infocom.co.jp

*当資料に記載された予想に関する情報は、2012年2月6日発表の中期経営計画、2014年10月29日発表の平成27年3月期第2四半期決算短信及び2015年3月期第2四半期決算説明会資料に基づくものであり、記載された将来の計画数値や施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

*当資料に記載された会社名及び製品名等は該当する各社の登録商標又は出願中の商標です。
*当資料に掲載される情報、記事、写真等の無断複写、転載を禁止します。



この報告書は、適切に管理された森林から生まれたFSC®認証紙、植物油インキおよび有害な廃液の出ない水なし印刷で印刷されています。